

私のウェルビーイングは…

I C Tで効率化



音更町立音更小学校 教諭 伊倉 大亮

《取組の紹介》

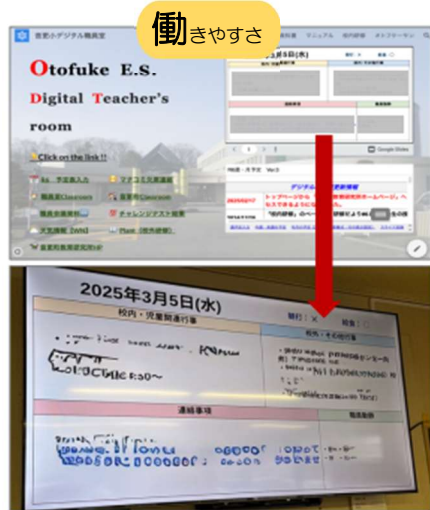
本校では、2023年度からI C Tを効果的に使った授業改革を進めています。しかし、校務はWindows PC、学習はChromebookと2種類の端末で情報を管理していたため、データの分散や作業の重複による非効率さが課題となっていました。そこで、学校全体の情報をクラウドで1つにまとめることで、情報共有をスムーズにし、先生方の業務を効率化して負担を減らすことを目指しました。

具体的には、以下の2点を目標に掲げました。

1. クラウド活用による業務の効率化と負担軽減

2. 業務短縮で生まれた時間を使い、より効果的なI C T活用教育の推進

これらに加えて、校務・校内研修・学習の3つの柱を設定し、研究を進めました。下記は、I C Tのスキルアップと先生方の働きやすさを実現し、子どもたちの質の高い学びにつなげるための取組です。



【予定のクラウド共有⇒サイネージ化】



【打ち合わせシートの共有⇒時数集計】



【事後研・クラウド活用討議】

音更小学校職員ポータルサイト「音小デジタル職員室」を基盤とした、校務・学習情報の共有と業務の統合・効率化。

・討議、研修情報の発信をデジタル化。
・ロイロの活用⇒授業への還元。

《成果と課題・今後に向けて》

- ・【成果①】クラウドを活用した「デジタル職員室」の整備により、行事予定などの校務情報がいつでも確認できるようになり、業務の統合・効率化が進んだと評価されました。
- ・【成果②】「デジタル事後研」での討議情報の共有と発信が効果的で、授業への還元やI C Tスキルの向上につながったと感じる先生が増えました。
- ・【課題①】情報共有や体制整備は評価されたものの、デジタル業務の増加により、I C Tの活用にし難さを感じる先生へのサポートが不十分でした。
- ・【課題②】職員全体でのクラウド活用による情報発信・データ分析には、課題が残りました。
- ・【今後に向けて】「デジタル職員室」を情報発信の場へと発展させ、継続的に運営します。また、I C Tを活用した分掌業務の自動化を推進し、職員が使いやすいシステム整備を進めます。